

学びの伝統「さかもと魂」を大切に

日立市立坂本中学校長

2年生が宿泊学習の場としている福島県会津地方に「什の掟」があるように坂本中学校には、「さかもと魂」があります。いつ頃創られたのか定かではありませんが、教師も生徒も、「さかもと魂」を合い言葉に、学校教育目標「一人一人の夢や希望の実現」を目指して、学び合い高め合っています。

「さかもと魂」は、「さかもと」の文字を利用し、「さわやかさ」「かんしゃの心」「もくひょうをもつ」「とちゅうであきらめない」の四つの文言で構成されています。

「さわやかさ」は、さわやかな挨拶や返事ができ、さわやかな態度で生活できる生徒を育成することです。「かんしゃの心」は、素直な気持ちで「ありがとう」が言え、自分を支えてくれている人や社会に感謝する心を育成することです。「もくひょうをもつ」は、将来の夢を懐き、学習や生活、行事、部活動などにおいて明確な目標をもつことができる生徒を育成することです。「とちゅうであきらめない」は、学習や生活、行事、部活動において、目標に向かって最後まで努力し続ける生徒を育成することです。

簡潔で明瞭なので、教師も生徒も意味をよく理解し、しっかり覚えています。学びの伝統「さかもと魂」を大切に、保護者や地域の皆様のご支援をいただきながら、学び合い高め合う学校づくりを目指します。今後ともご支援ご協力をよろしく願いいたします。

令和5年1月5日